

「学生のおもしろ企画・大学祭企画」実施報告書

※整理番号：

企画名
レスキューロボットコンテストへの挑戦
実施日
平成 29 年 6 月 25 日（日）～ 平成 29 年 8 月 12 日（土）
実施場所
大阪府立北大阪高等職業専門学校
企画代表者の氏名，所属
氏名：福田 功貴 所属：工学部第一類（機械システム工学系）
構成員の氏名
表康平 寺尾健人 福田功貴 今田晃樹 橋本航太 LEE TAE KON 中南魁人 今井優太
指導的立場の教員氏名
和田信敬
企画の目的及び内容
1) 企画の目的及び期待される効果 広島大学の宣伝 機械設計、設計機械加工技術の向上 電気電子回路製作技術の確立、プログラミングの習得 論理回路の設計、製作技術習得
来場者数
5,367 人(主催者発表)
主催・後援団体（外部のコンテスト等に参加する場合は、そのコンテストの規模）
2017 レスキューロボットコンテスト実行委員会 大阪・東京予選、及び神戸本戦
活動の内容（準備，広報活動，当日の様子等）
【準備】 初出場である私たちは前年使用したロボットがないため、自分たちで救助ロボットを設計し、フェニックス工房の工作機械で製作を行いました。しかしながら、ロボコンどころかものづくり経験のない私たちの手際は良いとは言えず、スケジュール管理などもできていなかったため大会の数日前まで製作を行うなど、いたるところに反省すべきことがあるような準備態勢でした。 【当日の様子】 搬入した後の最終調整時にもトラブルが発生し、その対応に追われていました。慣れない環境でしたが、なんとか自分たちの出場の前に調整を終わらせ、試合に臨むことができました。予選では2体中1体、本選ではファーストミッション、セカンドミッション共に3体中2体の救出することができました。これからの挑戦に繋がるとても良いスタートを切れたと思います。来年は今年の反省を生かし、ファイナルミッションへ進出ができるように活動していこうと思います。

(裏面に続く)

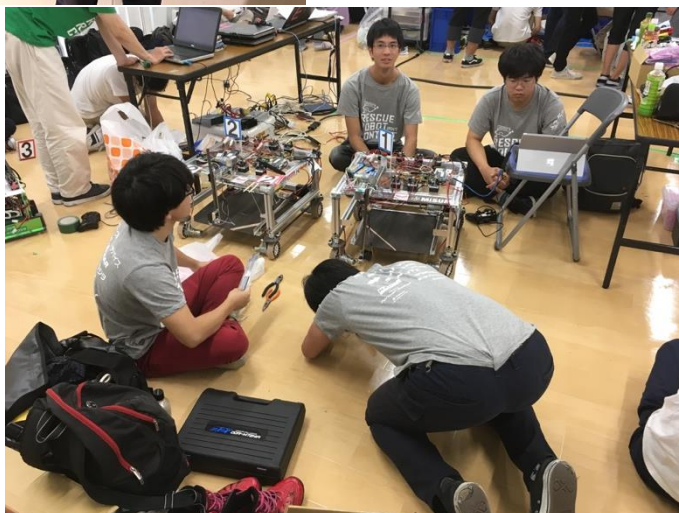
「学生のおもしろ企画・大学祭企画」 実施報告書 (裏面)

アンケートの結果 (来場者にアンケートを実施した場合のみ)

成果・課題

今回のレスキューロボットコンテストが私たち広島大学ロボコンサークル Robo. Lab. の初陣で、誰も経験のないロボットの設計製作、制御を行いました。広島大学は全国的に名が知れているのでその初出場も他大学のチームには注目されていたようです。ですが誰もロボコン参加経験の無い状態での参加でしたので、出来上がったロボットのクオリティは他団体のものよりも低く、また初年度ならではの資金問題や人手問題なども抱えつつ、かろうじて出場できたという感じでした。しかしながら、ロボット自体をシンプルにするという構想と、ものづくりの基礎から勉強していたおかげで、以前から出場しているチームをしのご本選に出場することができました。本戦ではあまり良い結果は残せませんでした。会場の雰囲気、バッテリー管理の重要性、電子配線の保護と配置の工夫、他大学さんとの交流など、得たものは多かったと考えています。私たちは今期得た課題や反省を活かし、来年のレスキューロボットコンテストでより良い成績を残したいと思っています。

実施風景 (写真)



【提出方法】 指定された期限までに本紙を作成の上、電子ファイルで提出してください。
E-mail でも受け付けます。

【提出先】 工学部学生支援室 (kou-gaku-gakubu@office.hiroshima-u.ac.jp)